

原油価格・物価高騰等総合緊急対策（農林水産関係）について

令和4年4月28日の閣議において、原油価格・物価高騰等総合緊急対策に関する予備費の使用が決定されました。これを受け、本対策のうち、農林水産関係の事業についてお知らせします。

【原油価格・物価高騰等総合緊急対策（農林水産関係） （令和4年度予備費 751億円）】

- | | |
|------------------------------|----------------------------|
| (1) 肥料の安定調達・価格高騰対策 | (4) 国産材への転換対策 |
| ① 化学肥料原料調達支援緊急対策事業 100億円 | ① 国産材転換支援緊急対策事業 40億円 |
| ② 肥料コスト低減体系緊急転換事業 運用改善 | (5) 水産関係対策 |
| (2) 飼料の価格高騰対策 | ① 水産加工業原材料調達円滑化緊急対策事業 50億円 |
| ① 配合飼料価格高騰緊急対策事業 435億円 | ② 日口漁業協定関係漁業者対策事業 |
| ② 飼料穀物備蓄・流通合理化事業 運用改善 | (6) 金融支援対策 |
| (3) 食品原材料の価格高騰対策 | ① 農林漁業者に対する金融支援対策 運用改善 |
| ① 輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業 100億円 | (7) 孤独・孤立対策等 |
| ② 国産小麦供給体制整備緊急対策事業 25億円 | ① フードバンク活動強化緊急対策事業 1億円 |
| | ② 政府備蓄米の活用拡大 |

※詳細については、農林水産省ホームページでご確認下さい。
<https://www.maff.go.jp/j/budget/r4yobihi.html>

「令和4年度 農薬危害防止運動」の実施について



農林水産省は、農薬を使用する機会が増える6月から8月にかけて、厚生労働省、環境省等と共同で、農薬の使用に伴う事故・被害を防止するため、農薬の安全かつ適正な使用や保管管理、環境への影響に配慮した農薬の使用等を推進する「農薬危害防止運動」を実施しておりますのでお知らせします。

【実施期間】

原則として、令和4年6月1日から8月31日までの3か月間。

【実施事項】主な実施事項は以下のとおりです。

- (1) 農薬及びその取扱いに関する正しい知識の普及啓発
- (2) 農薬による事故を防止するための指導
- (3) 農薬の適正使用等についての指導
- (4) 農薬の適正販売についての指導
- (5) 有用生物や水質への影響低減のための関係者の連携

なお、本年度の運動については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に十分配慮し、密閉空間、密集場所、密接場面を避けて実施することとします。

※詳細については、農林水産省ホームページでご確認下さい。
<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/nouyaku/220502.html>

「土よし、味よし、生産者よし」の北本イケメン野菜を生産・販売し、お客さんとのふれあいを大切に地域とのつながり、地域の活性化、そして育ててもらった地域への恩返しを考えている新井啓佑さんをご紹介します。

「こんにちは！」と爽やかな笑顔で迎えてくれたのは、新聞等で紹介された「北本イケメン野菜」を生産・販売している新井啓佑さんと3歳の息子さん。

啓佑さんは、大学卒業後、東京でパソコンスクールの講師を数年経たのち埼玉県農業大学校で学んだ後、大宮市場で競り人として働いた経験を活かし、以前から野菜作りに興味があったことから約8年前に18代目として親元就農しました。現在、北本市内で米・麦が15ha、露地野菜2.2haを本人、妻、両親の家族4人で経営しています。

主として露地野菜を担当し、人参や大根、カブなど年間約50種類の野菜を生産しており、地元のスーパー、直売所等で「北本イケメン野菜」として販売しています。



「北本イケメン野菜」とは、2017年に北本市の農業青年会議所のメンバー（現在22名）が生産する野菜や果実のことで、北本イケメン野菜3か条「土よし、味よし、生産者よし」を掲げ、北本市の肥沃な土壌で育った野菜をもっとたくさんの人に届けたい、農業の素晴らしさを多くの若者達にも知ってもらいたい、もっと北本市の農業を盛り上げたいとの強い願いがあるそうです。

その活動は、イケメン野菜の生産・販売だけでなく市内の飲食店とコラボレーションしたメニューに取り組んだり、馬鈴薯を利用したイケメンチップスを商品化しメディアに取り上げられたりと、北本地域の経済の活性化にもつながっているようです。

今後、啓佑さんの目指す農業について聞いたところ、「自分としてはイケメン野菜の生産をもっと増やして皆さんに食べていただきたいが、両親も高齢となり米づくりも手伝わなければならない。今以上



に野菜の面積を増やすと人手の確保も必要となるので、今のところは現状を維持しながら、将来的には規模拡大を考えていきたい。」「北本イケメン野菜3か条を基本に土づくりにこだわりを持った野菜を生産し、購入していただく目の前のお客さんとのふれあいを大切に、喜んで食べてもらいたい。そして、地域に育ててもらったので地域に恩返ししていきたい。」と熱い思いを語ってくれました。

帰り際には、可愛いイケメンの19代目が満面の笑みで「バイ、バイ！！」と大きな声で手を振ってくれました。